

(仮称) 神崎郡ごみ処理施設建設工事
審査講評

令和6年5月22日

中播北部行政事務組合
神崎郡ごみ処理施設事業者選定委員会

中播北部行政事務組合（以下「本組合」という。）では、（仮称）神崎郡ごみ処理施設（以下「本施設」という。）の整備を行う（仮称）神崎郡ごみ処理施設建設工事（以下「本工事」という。）を発注するに当たり、事業者の豊富な経験と高度な技術力を評価することのできる公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という。）を採用しました。

また、本組合では本工事の発注を円滑に実施するため、神崎郡ごみ処理施設事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、令和5年2月以降、計5回の選定委員会を開催し、発注仕様書等について慎重に審議を重ねました。

プロポーザルについては、令和5年10月12日に公告し、令和6年5月16日に参加資格事業者から提出された非価格要素提案書に基づくプレゼンテーション及び技術提案関係図書に対するヒアリングを行い、同日開催した選定委員会において、優先交渉権者の選定を行いました。

本講評は、選定委員会におけるこれまでの審議過程や審査結果について公表するものです。

令和6年5月22日

中播北部行政事務組合
神崎郡ごみ処理施設事業者選定委員会
委員長 野邑 奉弘
副委員長 西村 伸也
委員 尾花 哲也
委員 近藤 博之
委員 前田 義人

目 次

1	事業の概要	1
(1)	事業名称	1
(2)	事業場所	1
(3)	施設概要	1
(4)	工期	1
(5)	事業方針	1
(6)	契約の形態	1
(7)	工事請負事業者の業務範囲	2
2	優先交渉権者選定までの経緯	3
(1)	委員会の設置	3
(2)	事業者の募集及び選定スケジュール	3
3	審査の手順及び方法	4
(1)	参加資格審査	4
(2)	技術審査	4
(3)	非価格要素審査	4
(4)	価格要素審査	8
4	審査講評（案）	10

1 事業の概要

(1) 事業名称

(仮称) 神崎郡ごみ処理施設建設工事

(2) 事業場所

兵庫県神崎郡市川町浅野 地内

(3) 施設概要

ア 処理方式

ストーカ方式 (連続運転式焼却炉)

イ 施設規模

(ア) エネルギー回収施設

44 t / 日 (2 系列、24 時間連続稼働)

(イ) リサイクル施設

12.1 t / 日 (1 日の稼働時間は 5 時間)

○ 空カン・空ビン : 2.0 t / 日

○ ペットボトル : 0.2 t / 日

○ 容器包装プラ : 0.6 t / 日

○ 製品プラ : 0.2 t / 日

○ 破碎処理設備 : 9.1 t / 日

(4) 工期

本組合議会の議決の日 (本契約締結日) から令和 10 年 3 月 31 日まで

(5) 事業方針

公設公営により実施する。

なお、本施設の維持管理は長期包括運営委託を予定しており、竣工後 3 年間の維持管理は、本工事の民間事業者との随意契約を予定しています。それ以降の 17 年間については、新たに長期包括運営委託事業者を選定する予定としていますが、当該民間事業者の参画を妨げるものではありません。

(6) 契約の形態

本組合は、施設設計・施工に当たり、民間事業者との間で「(仮称) 神崎郡ごみ処理施設建設工事請負契約」(以下「請負契約」という。)を締結します。

(7) 工事請負事業者の業務範囲

ア 請負契約に基づく、施設設計・施工

イ 土木工事、建築機械設備工事、建築電気設備工事、外構工事及びその他本施設の整備に必要な工事

ウ 施工に伴って発生する建設廃棄物等の処理・処分、関係官公庁等との諸手続関連業務、本施設の試運転及び引渡性能試験等

エ 本工事に係る交付金の申請等に必要な書類の作成

オ 工事期間中の周辺住民等への対応や住民説明会（建設期間中の現場説明会を含む。）など各種会議等への出席及び当該会議等に使用する資料の作成

カ その他、本工事の実施に関連し、必要な事項

2 優先交渉権者選定までの経緯

(1) 委員会の設置

本組合では、プロポーザル説明書、優先交渉権者選定基準書及び発注仕様書等の審議を行うため選定委員会を設置しており、選定委員会において優先交渉権者の選定を行いました。

選定委員会を構成する委員は、次のとおりです。

表－1 選定委員会の構成

氏名	役職等
野邑 奉弘	大阪市立大学 名誉教授
西村 伸也	大阪市立大学 名誉教授
尾花 哲也	市川町副町長
近藤 博之	福崎町副町長
前田 義人	神河町副町長

(2) 事業者の募集及び選定スケジュール

事業者の募集及び選定スケジュールは次のとおり実施しました。

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1) 募集公告及びプロポーザル説明書等の公表 | 令和5年10月12日(木) |
| 2) 参加資格審査申請に関する質疑の受付期限 | 令和5年10月18日(水) |
| 3) 参加資格審査申請に対する質疑への回答日 | 令和5年10月27日(金) |
| 4) 参加資格審査申請書等の受付期限 | 令和5年11月2日(木) |
| 5) 資格審査結果の通知日 | 令和5年11月13日(月) |
| 6) 参加資格審査申請以外の質疑の受付期限 | 令和5年11月30日(木) |
| 7) 参加資格審査申請以外の質疑への回答日 | 令和5年12月11日(月) |
| 8) 技術提案関係図書の受付期限 | 令和6年3月19日(火) |
| 9) 技術提案関係図書のヒアリングの実施 | 令和6年5月16日(木) |
| 10) 非価格要素評価及び価格要素の評価 | 令和6年5月16日(木) |
| 11) 優先交渉権者の選定 | 令和6年5月16日(木) |

3 審査の手順及び方法

(1) 参加資格審査

令和5年10月12日に募集公告及びプロポーザル説明書等の公表を行い、3者から参加資格申請書の提出がありました。

参加資格審査は、本プロポーザルの事務を担当する本組合の建設課（以下「事務局」という。）で実施しました。

参加資格審査の結果は、次のとおりです。

なお、参加資格を確認した応募者に組合が企業番号を設定し、選定委員会で行う技術審査等は匿名で実施しました。

表一2 参加資格審査結果

企業番号	参加資格審査の結果
陸	合格
海	合格
空	合格

(2) 技術審査

技術審査では、技術提案関係図書に記載された内容が発注仕様書に規定された要求水準を満足しているか審査を行いました。

併せて、提出を受けた図書について技術的検討を実施する過程で不明確な点、改善が必要と考えられる点を各参加資格事業者に照会、確認を行いました。照会、確認を行った主な内容は次のとおりです。

- 設備機器の仕様及び各メーカーの燃焼技術について
- 運転管理自主基準値の妥当性について
- エネルギー回収率の妥当性について
- 地域特性を理解した還元策について
- 施設の車両動線及び場内の安全管理の考え方について

審査の結果、企業番号「陸」及び企業番号「海」、企業番号「空」の3者全て、発注仕様書に規定された要求水準を満足していることを確認しました。

このため、修正技術提案関係図書については提出を求めず、非価格要素審査を実施することとしました。

(3) 非価格要素審査

ア 非価格要素提案書審査における評価項目

非価格要素提案書について、表一3に示す「非価格要素提案書審査における評価項目及び配点」に基づき評価を行いました。

表－3 非価格要素提案書審査における評価項目及び配点

評価項目		評価の着眼点	配点	
非価格要素 の審査	1 安全・安心で安定的な処理ができる施設	1 エネルギー回収施設について、類似施設*の元請けとしての建設（新設）実績	応募企業のエネルギー回収施設の元請けとしての建設（新設）実績数を評価する。	50
		2 リサイクル施設について、類似施設*の元請けとしての建設（新設）実績	応募企業のリサイクル施設の元請けとしての建設（新設）実績数を評価する。	
		3 場内の安全管理の考え方	安全管理について、作業動線や利便性を考慮した優れた提案がされているかを評価する。	
		4 安定稼働を実現するための技術	施設の安定稼働について、優れた技術及び根拠を基に提案がされているかを評価する。	
		5 ごみ量・ごみ質の変動への対応方法	ごみ量・ごみ質の変動への対応方法について、優れた技術及び根拠を基に提案がされているかを評価する。	
		6 熱回収率	熱回収率について、優れた技術及び根拠を基に提案がされているかを評価する。	
		7 工期の遵守	工期を遵守するための優れた提案がされているかを評価する。	
		8 業務及び情報の引継ぎ方法	引き渡し時における業務及び情報の引継ぎ方法や運転指導について、優れた提案がされているかを評価する。	
	2 災害に強く災害時においても地域に貢献できる施設	1 緊急時の対応方法	自然災害・事故・トラブル等といった緊急時の対応方法について、優れた提案がされているかを評価する。	15
		2 避難所機能の活用方法	災害時における避難所機能（地元住民への施設の開放等）の活用方法について、優れた提案がされているかを評価する。	
		3 災害廃棄物への対応方法	災害廃棄物への対応方法について、優れた提案がされているかを評価する。	
	3 地域に開かれ親しまれる施設	1 地域特性を理解した還元策	地域還元策について、地域特性を理解した優れた提案がされているかを評価する。	25
		2 地域経済への貢献	地域経済への貢献（雇用、発注等）方法について、優れた提案がされているかを評価する。	
		3 情報公開の方法	情報公開の方法について、優れた提案がされているかを評価する。	
		4 啓発施設（設備）及び見学者への配慮	啓発施設（設備）及び見学者への配慮方法について、優れた提案がされているかを評価する。	
	4 環境にやさしい施設 循環型のまちづくりに寄与できる施設	1 運転管理自主基準値	排ガス、騒音、振動、悪臭、粉じんの運転管理自主基準値について、優れた技術及び根拠を基に、公害防止基準値を下回る値が提案されているかを評価する。	20
		2 二酸化炭素排出量の削減	施設稼働中の二酸化炭素排出量について、優れた技術及び根拠を基に、削減策が図られているかを評価する。	
		3 建設時における配慮	建設時における地元住民への説明方法や、地元住民や環境に配慮した工法等について、優れた提案がされているかを評価する。	
	5 経済性・効率性	1 人員配置計画	運転管理に携わる職員の役割（必要な法定資格者）、人数、シフト等について、適切な計画とされているかを評価する。	10
		2 用役費	20年間の用役費について、根拠（単価、量）と併せて評価する。	
		3 維持補修費	20年間の維持補修費について、根拠（対象設備、内容）と併せて評価する。	
	非価格要素の審査合計			120
	価格要素の 審査	点数＝配点×定量化限度額/入札金額 ※定量化限度額を下回る価格を提示した応募者の得点は80点とする		80
		価格要素の審査合計		80
	総合計			200

※「類似施設」の定義

エネルギー回収施設：平成14年12月1日（廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定める焼却炉の構造基準の改正）以降に竣工した1炉当たり20t/日以上規模を有する全連続式焼却施設（ストー方式）
リサイクル施設：平成20年4月1日（改正容器包装リサイクル法完全施行）以降に竣工した破砕及びプラスチック圧縮設備を含むリサイクル施設

※「実績」の定義

参加資格審査申請書の提出日における、元請けとしての新設工事実績とする

イ 評価項目の採点基準

(7) 絶対評価基準

絶対評価で評価する各評価項目は、表—4に示す「絶対評価基準」に基づいて評価、点数化を行いました。

表—4 絶対評価基準

評価	評価内容	点数化の方法
A	秀：大きな効果が期待できる提案がされている。	配点×1.00
B	良：一定の効果が期待できる提案がされている。	配点×0.50
C	普通：一般的な提案に留まっている。	配点×(0.20~0)

(1) 相対評価基準

相対評価で評価する各評価項目は、以下に示す「相対評価基準」に基づいて評価、点数化を行いました。なお、各項目において計算された点数については、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位までを非価格要素評価点としています。

- ・ 配点×(当該応募者の値÷最も良い応募者の値)
- ・ 配点×(最も良い応募者の値÷当該応募者の値)

ウ 非価格要素審査結果及び非価格要素評価点の決定

非価格要素審査結果及び非価格要素評価点は、表—5「非価格要素提案書審査結果及び非価格要素評価点」に示すとおりです。

表—5 非価格要素提案書審査結果及び非価格要素評価点

評価項目		評価の着眼点	配点	評価結果			
				陸	海	空	
1	安全・安心で安定的な処理ができる施設	1 エネルギー回収施設について、類似施設*の元請けとしての建設（新設）実績	応募企業のエネルギー回収施設の元請けとしての建設（新設）実績数を評価する。	50	26.50	11.64	33.16
		2 リサイクル施設について、類似施設*の元請けとしての建設（新設）実績	応募企業のリサイクル施設の元請けとしての建設（新設）実績数を評価する。				
		3 場内の安全管理の考え方	安全管理について、作業動線や利便性を考慮した優れた提案がされているかを評価する。				
		4 安定稼働を実現するための技術	施設の安定稼働について、優れた技術及び根拠を基に提案がされているかを評価する。				
		5 ごみ量・ごみ質の変動への対応方法	ごみ量・ごみ質の変動への対応方法について、優れた技術及び根拠を基に提案がされているかを評価する。				
		6 熱回収率	熱回収率について、優れた技術及び根拠を基に提案がされているかを評価する。				
		7 工期の遵守	工期を遵守するための優れた提案がされているかを評価する。				
		8 業務及び情報の引継ぎ方法	引き渡し時における業務及び情報の引継ぎ方法や運転指導について、優れた提案がされているかを評価する。				
2	災害に強く災害時においても地域に貢献できる施設	1 緊急時の対応方法	自然災害・事故・トラブル等といった緊急時の対応方法について、優れた提案がされているかを評価する。	15	7.50	5.50	3.50
		2 避難所機能の活用方法	災害時における避難所機能（地元住民への施設の開放等）の活用方法について、優れた提案がされているかを評価する。				
		3 災害廃棄物への対応方法	災害廃棄物への対応方法について、優れた提案がされているかを評価する。				
3	地域に開かれ頼まれる施設	1 地域特性を理解した還元策	地域還元策について、地域特性を理解した優れた提案がされているかを評価する。	25	10.50	4.50	11.25
		2 地域経済への貢献	地域経済への貢献（雇用、発注等）方法について、優れた提案がされているかを評価する。				
		3 情報公開の方法	情報公開の方法について、優れた提案がされているかを評価する。				
		4 啓発施設（設備）及び見学者への配慮	啓発施設（設備）及び見学者への配慮方法について、優れた提案がされているかを評価する。				
4	環境にやさしい施設 循環型のまちづくりに寄与できる施設	1 運転管理自主基準値	排ガス、騒音、振動、悪臭、粉じんの運転管理自主基準値について、優れた技術及び根拠を基に、公害防止基準値を下回る値が提案されているかを評価する。	20	11.45	14.03	13.75
		2 二酸化炭素排出量の削減	施設稼働中の二酸化炭素排出量について、優れた技術及び根拠を基に、削減策が図られているかを評価する。				
		3 建設時における配慮	建設時における地元住民への説明方法や、地元住民や環境に配慮した工法等について、優れた提案がされているかを評価する。				
5	経済性・効率性	1 人員配置計画	運転管理に携わる職員の役割（必要な法定資格者）、人数、シフト等について、適切な計画とされているかを評価する。	10	4.57	5.61	9.17
		2 用役費	20年間の用役費について、根拠（単価、量）と併せて評価する。				
		3 維持補修費	20年間の維持補修費について、根拠（対象設備、内容）と併せて評価する。				
技術点合計			120	60.52	41.28	70.83	

(4) 価格要素審査

ア 価格要素評価点の算出方法

価格要素評価点は、定量化限度額（予算額の85%）を参加資格事業者の提案価格で除し、80点を乗じた値としました。

なお、計算された点数については、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位までを価格要素評価点としています。

$$\text{価格要素評価点} = \text{定量化限度額} \div \text{提案価格} \times 80 \text{点}$$

※定量化限度額：予算額の85%

イ 価格要素評価点の決定

価格要素評価点は、表－6「価格要素評価点」に示すとおりです。

表－6 価格要素評価点

予算額（税込）		9,900,000千円
定量化限度額（税込）		8,415,000千円
企業番号 陸	提案価格（税込）	9,548,000千円
	価格要素評価点	70.51点
企業番号 海	提案価格（税込）	7,656,000千円
	価格要素評価点	80.00点
企業番号 空	提案価格（税込）	9,570,000千円
	価格要素評価点	70.34点

(5) 総合評価点の決定

非価格要素評価点と価格要素評価点の合計点を総合評価点としました。

総合評価点は、表－7「総合評価点」に示すとおりです。

なお、表－8には、企業番号に対応する参加資格事業者の構成を示しています。

表一 7 総合評価点

企業番号 陸	非価格要素評価点 (120点)	60.52点
	価格要素評価点 (80点)	70.51点
	総合評価点 (200点)	131.03点
企業番号 海	非価格要素評価点 (120点)	41.28点
	価格要素評価点 (80点)	80.00点
	総合評価点 (200点)	121.28点
企業番号 空	非価格要素評価点 (120点)	70.83点
	価格要素評価点 (80点)	70.34点
	総合評価点 (200点)	141.17点

表一 8 企業番号に対応する参加資格事業者の構成

企業番号	参加資格事業者の構成	
	代表事業者	構成員
陸	エクシオグループ株式会社	—
海	虹技株式会社	阿比野建設株式会社
空	エスエヌ環境テクノロジー株式会社	株式会社ノバック 進路工業株式会社

(6) 優先交渉権者の選定

優先交渉権者選定基準に基づき、総合評価点の最も高い提案を行った企業番号「空」を優先交渉権者として選定します。

4 審査講評

本工事における参加資格事業者は3者であり、非価格要素提案書において本組合が求める次の5つの視点

- (1) 安全・安心で安定的な処理ができる施設
- (2) 災害に強く災害時においても地域に貢献できる施設
- (3) 地域に開かれ親しまれる施設
- (4) 環境にやさしい施設 循環型のまちづくりに寄与できる施設
- (5) 経済性・効率性

のいずれの項目においても、豊富な経験により本組合が要求する水準を真摯に考慮した提案をいただきました。

そして、厳正かつ公正な審査の結果、企業番号「空」が優先交渉権者と選定されました。

優先交渉権者となった企業番号「空」においては、豊富な実績を基に非常に高い技術力をもって、困難とされる小規模施設における性能やエネルギー回収方法も併せて、本組合が求める水準の施設を「限りある財源で、創意と工夫により、効率的かつ地元配慮したキラリと光る提案」をいただきました。

さらに次の4つの提案

- ① 施設の安定的な稼働に対する提案
- ② デジタル技術を活用した展示・啓発設備の提案
- ③ 吸収式冷凍機など二酸化炭素低減策の提案
- ④ 経済性を考慮した効率的な維持管理方法の提案

など積極的な提案等をいただいております。今後は、建設工事請負契約に向け、詳細な協議を行うこととなります。

そして、請負契約の締結後は、令和10年4月の供用開始を目指し、本組合と協力して地域住民との信頼関係を築きながら、最善の努力を尽くしていただくことを望みます。

その中で、提案内容の更なる充実を図り、今回整備する本施設が、循環型社会の形成に寄与し、地域の拠点として大きな役割を担うことにより、今後、全国で整備される小規模施設の先駆的な事例となることを期待するものであります。

最後になりましたが、選定委員会より、募集公告から技術提案関係図書の提出まで5か月という非常に短い期間にも関わらず、多大な労力をかけ設定したスケジュールを遵守し、貴重な技術提案をいただいた各参加資格事業者に対し深く感謝申し上げます。

以上